



環境情報検証報告書

ルネサス エレクトロニクス株式会社 御中

1. 検証の対象

一般財団法人日本品質保証機構(以下、「当機構」という。)は、ルネサス エレクトロニクス株式会社が作成した「2021 年度 Scope1,2 排出量算定報告書」、「2021 年度エネルギー消費量算定報告書」、「2021 年度 Scope3 排出量算定報告書」及び「2021 年度水資源算定報告書」(以下、「算定報告書」という。)が、同社により作成された「年次環境データ管理マニュアル(2022 年 3 月 14 日環推(GM)-0030-07)」、「温室効果ガス Scope1(PFC ガス除く)、2 排出量、エネルギー消費量 算定マニュアル(2022 年 1 月 27 日環推(GM)-0036-04)」、「Scope1 PFC 排出量 算定マニュアル(2022 年 1 月 26 日環推(GM)-0037-02)」、「サプライチェーン排出量 Scope3 排出量算定マニュアル(2022 年 4 月 11 日環推(GM)-0035-07)」及び「水資源使用量等調査・集計マニュアル(2022 年 2 月 9 日環推(GM) 0038-03)」(以下、「算定ルール」という。)に準拠し、正確に測定、算出されていることについて第三者検証を行った。2021 年度とは 2021 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までの期間をいう。検証の目的は、算定報告書を客観的に評価し、同社の 2021 年度の温室効果ガス(以下、「GHG」という。)排出量、エネルギー消費量及び水総使用量の算定の信頼性をより高めることにある。

2. 実施した検証の概要

当機構は、GHG 排出量については「ISO14064-3」、エネルギー消費量及び水総使用量については「ISAE3000」に準拠して検証を実施した。本検証業務の対象活動範囲は、Scope1,2 排出量(エネルギー起源 CO2 排出量及び PFC ガス排出量)、Scope3 排出量(カテゴリ 1,2,3,4,5,6,7)、エネルギー消費量、水総使用量であり、保証水準は「限定的保証水準」、重要性の量的判断基準はそれぞれの総量の 5%とした。尚、ここでいう PFC ガスとは HFC(CHF3)、PFC(CF4、C2F6、C3F8、C4F8)、SF6、NF3 を総称している。

また、本検証業務の対象組織範囲は、Scope1,2 排出量、エネルギー消費量及び水総使用量に関してはルネサス エレクトロニクス株式会社本社及びグループ会社 21 拠点(国内 13 拠点及び海外 8 拠点)とし、Scope3 排出量に関しては、別紙に記載する拠点とした。

Scope3 排出量以外の検証手続きにおいては、ルネサス エレクトロニクス株式会社及びグループ会社の武蔵事業所、西条工場及び錦工場の 3 拠点を現地検証の対象とし、各拠点における算定対象範囲の確認、エネルギー消費量監視点・PFC ガス排出量監視点・水使用量監視点の確認、算定・集計体制の確認、活動量データについて根拠資料との突き合わせを行った。なお、現地検証の対象とした拠点及び拠点数の決定はルネサス エレクトロニクス株式会社が実施した。算定ルールの確認及び Scope3 排出量に関する検証手続きは、ルネサス エレクトロニクス株式会社本社において実施し、算定シナリオ及びアロケーションの確認、算定集計体制の確認及び排出量データについて根拠資料との突き合わせを行った。

3. 検証の結論

検証の対象とした、算定報告書の 2021 年度の GHG 排出量、エネルギー消費量及び水総使用量において、算定ルールに準拠せず、正確に算定されていない事項は発見されなかった。

4. 留意事項

算定報告書の作成責任はルネサス エレクトロニクス株式会社にあり、GHG 排出量、エネルギー消費量及び水総使用量の検証の結論に関する責任は当機構にある。ルネサス エレクトロニクス株式会社と当機構との間には、特定の利害関係はない。

東京都千代田区神田須田町一丁目 25 番地

一般財団法人日本品質保証機構

理事 浅田 純 男



別紙

Scope3 排出量のカテゴリ別の算定対象範囲

区分		算定対象範囲
Category1 購入した製品・サービス		国内:REL/米沢工場、大分工場、錦工場、RSMC/那珂工場、高崎工場、滋賀工場、西条工場、山口工場、川尻工場 海外:REA(Palm Bay)、RSB、RSC、RSKL、RSM、RSK、REPG、REGG
Category 2 資本財		ルネサスグループ全拠点
Category 3 Scope1,2 に含まれない燃料及びエネルギー関連活動		Scope1,2 排出量と同範囲
Category 4 輸送、配送(上流)	調達物流	Scope1,2 排出量と同範囲 (REGG は化学物質購入無し)
	横持物流	REL/米沢工場、大分工場、錦工場 RSMC/那珂工場、高崎工場、滋賀工場、西条工場、山口工場、川尻工場
Category 5 事業活動から出る廃棄物		Scope1,2 排出量と同範囲
Category 6 出張		REL、RSMC REA、REE、RESG、REML、REIN、REHK、RECH、RESH、RETW、REKR、RSM、RST、RSK、RSC、RSB、RSKL
Category 7 雇用者の通勤		ルネサスグループ国内全拠点

<上記略称の説明>

REL: ルネサス エレクトロニクス株式会社
REA: Renesas Electronics America Inc.
REE: Renesas Electronics Europe GmbH
RESG: Renesas Electronics Singapore Pte. Ltd.
REML: Renesas Electronics Malaysia Sdn. Bhd.
REIN: Renesas Electronics India Pvt. Ltd.
REHK: Renesas Electronics Hong Kong Limited
RECH: Renesas Electronics (China) Co., Ltd.
RESH: Renesas Electronics (Shanghai) Co., Ltd.
RETW: Renesas Electronics Taiwan Co., Ltd.
REKR: Renesas Electronics Korea Co., Ltd.
RSMC: ルネサス セミコンダクタ マニュファクチャリング株式会社
RSM: Renesas Semiconductor (Malaysia) Sdn. Bhd.
RST: Renesas Semiconductor Technology (M) Sdn. Bhd.
RSK: Renesas Semiconductor (Kedah) Sdn. Bhd.
RSC: Renesas Semiconductor (Suzhou) Co., Ltd.
RSB: Renesas Semiconductor (Beijing) Co., Ltd.
RSKL: Renesas Semiconductor KL Sdn. Bhd.
REPG: Renesas Electronics (Penang) Sdn. Bhd.
REGG: Renesas Electronics Germany GmbH